



都道府県における院内がん登録研修会実態調査 & 院内がん登録実態調査の結果概要

国立研究開発法人 国立がん研究センター
がん対策情報センター・がん登録センター
院内がん登録分析室 奥山 絢子

令和2年度第1回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会
がん登録部会資料（2020年6月16日（火））



はじめに

- ここでは、昨年度実施した都道府県における院内がん登録実務者への研修会実態調査、および院内がん登録実態調査の結果概要をご報告いたします。
- いくつかの課題が見えてきましたが、本結果を皆様と共有し、今後の院内がん登録を考える一つの資料となれば幸いです。
- 調査結果については、部会后国立がん研究センターのHP等で報告書を公表することを予定しています。

（夏頃には公表できるよう検討中、新型コロナの影響で変更可能性有）

2020年8月現在下記HPにて公開

<https://www.ncc.go.jp/jp/cis/divisions/stat/project/010/index.html>

- 本調査結果の結果について、特にご意見等がございましたら、院内がん登録分析室までメールにてご連絡いただけますと幸いです。



都道府県における院内がん登録研修会実態調査-1

➤目的

各都道府県での院内がん登録実務者への研修会実態の把握

➤方法

がん登録部会実務者委員を対象

2019年5月-6月 平成29/30年度の研修会実施状況をWeb調査

➤結果

47都道府県から回答(回答率100%)

-44都道府県 独自に研修会を実施

標準登録様式や病期登録等 42都道府県

データ分析 16都道府県

-未実施理由:人材不足や都道府県内の役割が明確でない

令和2年度第1回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会資料



都道府県における院内がん登録研修会実態調査-2

結果(続き)

-研修会実施上の困難点

研修内容の立案(26都道府県)

研修会講師の選定(16都道府県)

-研修会実施上の工夫

事前にアンケート等でニーズ調査(16都道府県)

※都道府県の研修会担当者の交流・情報交換の場を部会の前後等に設けてはどうか?

※研修会講師の派遣について

標準登録様式や病期登録等は院内がん登録室へ

データ分析等は院内がん登録分析室へご相談下さい

令和2年度第1回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会資料



院内がん登録実態調査-1

- 目的: 各施設での院内がん登録の実態の把握
- 方法: 2017年全国集計参加施設842施設へ調査依頼
2019年5月-6月 平成31年度4月時点の状況をWeb調査
- 結果: 677施設から回答(回答率80.4%)
【自施設における院内がん登録の運用状況】
責任部署 605施設(89.4%)が明確に規定
院内がん登録実務者の研修受講の機会有が660施設(97.5%)
がん診療連携拠点病院等 352施設(99.2%)
都道府県推薦病院 254施設(96.6%)
任意参加病院 54施設(91.5%)
登録時の系統的な登録候補リスト作成 634施設(93.6%)
※一部、入院のみしか対象としていないと回答した施設有
登録の進捗管理の実施 576施設(85.1%)

令和2年度第1回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会資料



院内がん登録実態調査-2

実務者の配置: 初級/中級認定者(非常勤等含)

	施設別						合計	
	拠点病院	%	県推薦病院	%	任意	%		%
配置なし	0	0.0	3	1.1	2	3.4	5	0.7
配置あり	355	100.0	260	98.9	57	96.6	672	99.3
1名配置	58	16.3	77	29.3	22	37.3	157	23.2
2名配置	118	33.2	90	34.2	21	35.6	229	33.8
3名以上配置	179	50.4	93	35.4	14	23.7	286	42.2
不明(未回答)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	355	100.0	263	100.0	59	100.0	677	100.0

実務者の配置: 中級認定者(非常勤等含)

	施設別						合計	
	拠点病院	%	県推薦病院	%	任意	%		%
配置なし	23	6.5	54	20.5	19	32.2	96	14.2
配置あり	306	86.2	127	48.3	16	27.1	449	66.3
1名配置	174	49.0	89	33.8	15	25.4	278	41.1
2名配置	98	27.6	33	12.5	1	1.7	132	19.5
3名以上配置	34	9.6	5	1.9	0	0.0	39	5.8
不明(未回答)	26	7.3	82	31.2	24	40.7	132	19.5
合計	355	100.0	263	100.0	59	100.0	677	100.0

令和2年度第1回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会資料



院内がん登録実態調査-3

【自施設における院内がん登録の活用】

- 院内がん登録の運用課題評価と活用検討機関有 426施設(62.9%)
このうち、毎年院内がん登録集計結果を検討 289施設(67.8%)
- 自施設の院内がん登録データ利用規程有 287施設(42.4%)
このうち、具体的なデータ利用状況
 - 自施設のがん診療実態の報告書や資料作成 244施設(85.0%)
 - 自施設の職員が診療状況把握に活用 156施設(54.4%)
 - 都道府県全体で報告書を作成(協力) 108施設(37.6%)

令和2年度第1回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会資料



院内がん登録実態調査-4

【情報セキュリティ対策】

- 情報セキュリティに関する基本指針有 621施設(91.7%)
このうち、指針に沿った院内がん登録の運用管理規則有 204施設(32.9%)
- 院内がん情報のシステム運用責任者有 456施設(67.4%)
施設種別にみると
 - がん診療連携拠点病院等 262施設(73.8%)
 - 都道府県推薦病院 168施設(63.9%)
 - 任意参加病院 26施設(44.1%)
- 院内がん登録システムへの個別アクセス認証の実施 623施設(92.0%)
- アクセスの記録 437施設(69.9%)

令和2年度第1回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会資料



院内がん登録実態調査-4

院内がん登録における課題

- ▶ 多くの施設がマニュアルに沿って、院内がん登録を実施
一部の施設で、登録候補が入院のみ
⇒ **登録対象を網羅的に把握するよう周知徹底**
- ▶ データ活用の前に、自施設での検討機関を整備する必要
各施設のポリシーに沿った、データ利用規程を作成し
データ利用の透明性の確保することが重要
- ▶ 情報セキュリティ面は、検討中との回答が多かった
未整理の施設では再度検討をお願いします